

【事例 20】交通事故を減らすまちづくりプロジェクト（愛媛県松前町）

地域住民、行政、ボランティア、地域企業が一体となってワークショップを開催し、危険マップやポスターの作成、交通安全に対する意識啓発を実施

1. 取組内容

（1）取組の背景と目的

- ・ 松前町は、平成 20 年に大型商業施設が出店以降、幹線道路の新設などもあり、町内外からの車両流入が増加し、交通事情は大きく変化した。
- ・ 人口 10 万人に対する交通事故件数の割合は、平成 22 年に県下ワースト 1 となるなど、交通安全面における環境の整備が急務となり、特に、児童・生徒、高齢者や障がい者等に対する安全確保が課題となった。
- ・ そこで、地域住民、ボランティア、企業や交通行政関係機関が一体となって、様々な視点による交通安全対策を確保する取組をはじめた。具体的には、以下のとおり。
 - ①交通安全に対する高齢者の意識啓発（歩行中などに事故被害者となるリスクの軽減）
 - ②高齢ドライバーに対する指導（事故加害者となるリスクの軽減）
 - ③高齢者の交通安全への地域住民の協力（高齢者の交通安全に配慮する運転啓発等）
 - ④本事業は、平成 24 年度より開始し、今後も継続する予定。

（2）実施内容

- ・ 住民自らが考え、行政がサポートしながら関係者と連携して交通事故を減らすまちづくりプロジェクトを推進している。平成 24 年 4 月 1 日より、警察、交通安全協会、学校関係者、ボランティア等から構成される「松前町交通安全推進協議会（以下、「推進協」と言う。）」の委員がワークショップを開催し、住民、ボランティア、企業に対して安全なまちづくりへの思いを共有し、広げている。具体的には、
 - ①警察が提供する事故データを基に推進協が NPO 法人松山大学学生地域創造研究所 Muse に所属する学生と一緒に現場の検証を行い、学生が危険箇所マップを作成する。それを各戸に配布し、小・中・高校で交通安全教育に活用してもらったり、高齢者サロンで町の職員が交通安全講習会を行ったりした。
 - ②町内外の人の心に留まる情報発信を心がけ、交通安全にまちの PR を兼ねたポスターを推進協が作成している。ポスターには推進協委員が出演し、飲食店などにも掲示され、今も広がりを見せている。

（3）連携先機関

- ・ 町内会、交通安全協会、交通安全指導員、ボランティア、学校関係者、企業関係者、警察から構成される推進協の委員が主体となって実施している事業である。

(4) 事業体制

当該事業費	831 千円（平成 25 年度）
本事業担当職員数	2 人

2. 取組の成果・効果

(1) 実績

- 平成 25 年度実績
ワークショップの開催：3 回
ポスター作成・配布：750 枚（当初は 3 種×100 枚だったが、評判が高かったため、3 種×150 枚を増刷）
（なお、平成 24 年度は、危険箇所マップの作成・配布（20,000 枚）を実施）

(2) 成果

- 学生が若者視点で作成した危険箇所マップ、まちのPRを兼ねて推進協の委員自らが笑顔で出演したポスターは、“交通安全啓発”という硬いイメージを払拭し、その斬新な企画が好評で、メディアに多く取り上げられた。ポスターは、公共機関だけでなく飲食店などにも掲示され、今なお、掲示に広がりを見せている。
- マップやポスターといった成果品は、住民が主体となり、さまざまな関係者が一緒に作り上げたものであるため、話題性や広がりを持続性があり、商店内や飲食店内でも、本取組について話題になることがあるなど、多くの人の意識啓発につながっている。
- 平成 25 年途中で途切れたが、交通死亡事故ゼロ連続 500 日を達成したことにより、交通安全県民総ぐるみ運動愛媛県本部長より「交通安全対策優良市町表彰」を受けた。
- 町内の交通事故件数の推移は以下のとおり。高齢者が関係する交通事故を含め、全体的に低下傾向にある。

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
交通事故件数	211	179	160	147	108
うち高齢者が関係した交通事故件数	60	64	42	49	40

3. 取組における課題・留意点と工夫点

(1) 課題・留意点

- 人材不足
- 関係者間の調整、協力体制構築
- コーディネート力

(2) 取組における工夫点

- 推進協では、住民の声を大事にし、住民が主体的に気持ちよく参加できる環境づくりに努めた。ポスターの作成では、「まちのPR」要素を組み込むため、限られた日程、限られた予算での撮影が必要であったが、様々な分野の方が趣旨に賛同・協力してくれたおかげで、安全なまちづくりへの思いを共有し、広げていく人が増えていった。
- ワークショップ形式を採用したため、参加者が意見を述べやすく、結束力が高まった。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 現在は行政が場の提供を行い、推進協の活動をサポートしているが、今後は組織としてさらに自立的に活動できるよう発展して欲しい、と考えている。

4. 取組の状況

<p>ワークショップの様子</p> 	<p>危険箇所マップを利用した 高校での交通安全教育</p> 	<p>高齢者サロンでの 交通安全講習</p> 	
<p>交通安全啓発 PR ポスター</p>		<p>ガソリンスタンドに 掲示されたポスター</p>	
			
<p>出典) 愛媛県松前町提供資料 【取組事業を紹介したインターネットサイト】</p> <p>平成 24 年度の取組 (愛媛県中予地方局公式 facebook) https://www.facebook.com/media/set/?set=a.462640973798654.106362.233183103411110&type=3</p> <p>平成 25 年度の取組 (愛媛県中予地方局公式 facebook) https://www.facebook.com/media/set/?set=a.604764916252925.1073741997.233183103411110&type=3</p>			

市町村人口 (平成 26 年 12 月 31 日)	交通事故死者数		
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
31,153 人	0 人	2 人	0 人
	うち高齢者数 0 人	うち高齢者数 1 人	うち高齢者数 0 人

【本件問い合わせ先】
 愛媛県松前町
 保健福祉部町民課
 0899-85-4228